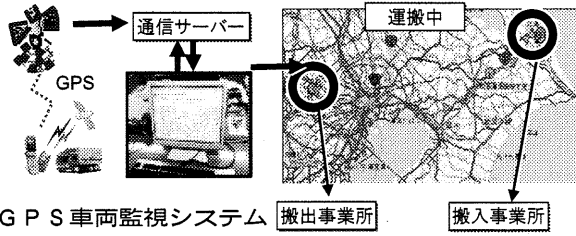


東急建設 浄化市場取組み強化 IT活用総合的に監視

東急建設は、焼却炉解体工事など浄化工事市場に
 対する取り組みを強化する。IT（情報技術）
 を活用した総合的な監視システムを導入し、環境
 管理を徹底する。同時に、
 現場の情報を地域住民に
 公開し「信頼関係を築き
 上げる」（同社）。GPS
 S（全地球測位システム）
 監視システムなどを導入

総合的な監視システム
 は、GPS、工事、粉じ
 ん濃度の各監視システム



GPS車両監視システム

を組み合わせる。東京都
 内の焼却炉解体工事に適
 用し、良好な結果を得た。

GPS車両監視システ
 ムは、GPSとICタグ
 （電子荷札）を併用する。
 廃棄物を運搬する車両に
 GPS装置を搭載し、車
 両の位置を随時確認し、
 適正な処分場までの運搬
 を監視する。同システム
 は、NPO（非営利組織）
 法人エコテックが第三者
 の視点から、運行管理の
 記録も取る。不法投棄を
 防ぐとともに、位置情報
 は地域住民にも公開し
 た。排出する廃棄物には
 ICタグを張り、積み込
 みから受け取りまでの工
 程を管理する。
 工事状況監視システム

は、関係者以外入れない
 汚染物質の除去現場を、
 カメラを使って遠隔地か
 ら監視する。カメラは、
 可動式でズームも可能な
 ため、幅広いエリアを確
 認できる。現場の管理棟
 に設置したパソコンで、
 周辺住民にも映像を公開
 した。

粉じん濃度監視システ
 ムは、解体対象物などの
 周囲に設置した粉じん計
 が、作業中に発生する粉
 じんをリアルタイムで計
 測する。粉じん計だけで
 は、大気中の花粉や黄砂
 などの粒子も計測してし
 まうため、SPM（浮遊
 粒子状物質）計も併設し、
 計測精度を高めた。

同社は、これらシステ
 ムを導入し、住民の不安
 を解消しながら工事を進
 める。焼却炉解体だけで
 なく、処分場のリニュー
 アルや土壌汚染対策など
 の工事にも適用する。